

北村 学（きたむらまなぶ）氏

卒業年：平成 25 年 3 月 専攻：花き 住所：久慈市



1 現在の経営概要

雨よけほうれんそう 32a (ハウス 16 棟)

2 経営での担当部門、取組状況、経営の特徴など

農大では花きを専攻しましたが、卒業後に地元のほうれんそう農家で 1 年間研修した時に、久慈地域で専業農家になるためには、ほうれんそうか菌床しいたけしかないとアドバイスを受け、ほうれんそう専業農家を目指すことにしました。

研修を経て H26 年 9 月からほうれんそうを栽培開始。本格的に栽培するのは今年 (H27) がはじめてとなります。栽培をやめた農家から農地とハウスを引き継ぎましたが、当初は雑草がかなり繁茂していたため、植え付ける状態にするのが大変でした。病害虫にも悩まされました。現在は、家族など 4 人で年間 5 回転の栽培を目指しています。4H クラブやグリーンバズ (ほうれんそう栽培者の技術研さんのグループ) にも積極的に参加し、技術対策、病害虫防除などを学んでいます。

3 就農しているなかでの苦労、良かったこと

- 非農家出身なので、就農するまでが大変でした。特に農地やハウスを探して売買が成立するまでが大変。農地や施設は就農支援資金や農協資金を利用して取得しました。
- 就農して良かったことは、自分の農地で自分のほうれんそうを出荷できること。とてもやりがいのある仕事だと思います。

4 農大での学生生活 (役に立っていること、もっと勉強しておけばよかったこと、思い出など)

- ピザ窯を作り、ピザを焼いてクラスメートなどに振る舞ったりしたことが、思い出として残っています。農大で人と人のつながりができたこと、日々勉強・実習に励んだことが今役立っています。
- 経営関係 (簿記など) の勉強や専攻以外の作物の栽培など、浅くてもいいから広く勉強しておけば良かったなと思います。

5 将来の夢、目標

品質の良い、クレームのこないほうれんそうを栽培したい。将来的には規模を 1ha まで拡大する。研修先の農家は管内でもトップクラスになるが、追い越して久慈地域でのトップを目指したい。

6 在校生への激励メッセージ

あつという間の卒業となります。1 日は 24 時間しかありません。全力で遊んで、全力で勉強してください。

7 HP、ブログ、Facebook の有無

なし。

8 取材後記 (取材職員記入)

北村さんは社会人を一度経験しましたが、就農するために農大に入学し、青年就農給付金なども有効に活用し、昨年度から就農という夢の第一歩を力強く踏み出しています。1 年間、栽培の研修をしたこともあり、ハウスではりっぱなほうれんそうが生育していました。農大出身で非農家から農業に参入するケースはあまりないのですが、一つのモデルとして成功し、後輩への道筋を示してもらえると嬉しいです。ほうれんそうは手作業が中心のため、大変な部分はありますが、父親をはじめ家族全員が応援してくれており、経営が軌道に乗るのに時間はかからないと思います。久慈ほうれんそうの担い手として期待します！

